

下田市蓮台寺

創年のたまり場「馬車道」誕生

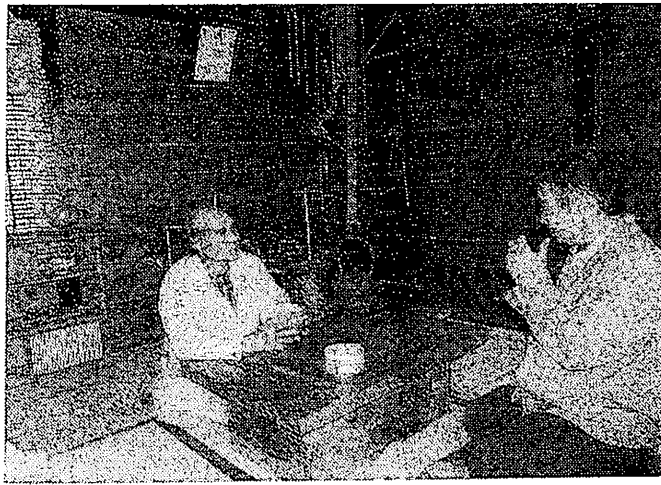
「工芸デザイン」 わたなべさん開設 中高年の生きがいに

下田市蓮台寺に、創年のたまり場となるクリエイティブハウス「馬車道」が誕生した。創年とは地域のため自らの力を發揮し、創造的に生きる中高年を意味する。「馬車道」の所有者は下田市振興公社職員で、工芸創作デザイナーのわたなべさん。定年退職を機に、NPO全国生涯学習推進機構の協会の創年のたまり場づくり運動に呼応して、県下で第一号となる創年のたまり場認定を受け、一日から本格的な活動を入りこませる。

1日に提唱者福原氏(聖徳大教授)講演会

わたなべさんは、蓮台寺、馬車道「は木造二階建てで喫茶店の工房を改造した。一階は三十三平、山が最盛期のころ、表面の活気を取り戻すきっかけと生きがいづくりと、同じ蓮台寺地区で電気工事店を営む住吉敏さん(73)はじめ市内四十人の中高年に創年のたまり場づくりを呼びかけた。外は開放し、訪れた観光客や市民が見学してもらい、馬車道は蓮台寺、山が最盛期のころ、表面に磁石を積んだ馬車が走っていた往時にちなみ、活気ある通りの復活を願って名付けた。

わたなべさんは「たまり場で具体的に何をしたいかまた決まってい



創年のたまり場として開放する「馬車道」=下田市蓮台寺で

ないが、まず拠点を整えて旗揚げした。さまざまな人たちに気軽に立ち寄ってもらい、大人の遊び場にしたい。これからリタイアする人が増えてくるが、ノウハウが豊富な中高年が集まり、気軽に話し合う場から、活性化のアイデアを引き出し、皆で協力して実行したり、観光客誘致の役に立ちたい。低迷から脱するため、とにかく前向きに取り組んでいくことが大切」と語る。

「馬車道」では、創年のたまり場の提唱者である

る聖徳大学教授で、生涯学習研究所長の福原強氏を招き、蓮台寺公会堂で一日午後四時から講演と懇親会を計画している。コミュニティ、教育、福祉、観光、地域研究などから、蓮台寺にふさわしい機能を構築し、中高年の夢を具体化させていくことについて。

伊豆新聞

2006年(平成18年)3月29日